

賛否意見書

ふくしま市産官学連携プラットフォーム
事務局 御中

令和 年 月 日

所属機関 _____

氏 名 _____

私は、令和4年度外部評価委員会の議題について、資料を精査した結果、次のとおり、賛否意見を提出します。

【議 題（意見聴取事項）】（賛否に○印で示して下さい）

- (1) 令和4年度事業の実績報告について 賛 ・ 否
- (2) 令和4年度決算の見通しについて 賛 ・ 否

※全員（1）、（2）ともに 賛

【意見等】

左記の意見聴取事項及びその他意見等ございましたら、こちらにご記入ください。

※次ページ記載のとおり

1. 外部評価委員会からのご意見

(福島キャリアナビ 渡辺 あゆみ様)

・産官学で実施する意義のある内容でした。地元福島を活性化させるためには将来を担う若い力が必須なので、こうして就職時に地元に残る選択をしてもらうことは大切です。就職セミナーにおいては、地元の若い経営陣の話を聞く機会となり、また自分の将来像を描ける機会となったのではないのでしょうか。福島の魅力ある自然や環境だけでなく、魅力ある人物にスポットを当てているこの事業は大変すばらしいものです。ふくしまの力事業も企業によっては初めての自社 PR ビデオを作る機会となることも多いので、経営者にとっても地元の学生を採用するといういい意識づけになったかと思えます。また行政や大学が連携してここまでやることは、地元経営者や学生に伝わったかと思えます。学生への意識づけだけでなく、企業への意識づけにもなる素晴らしい事業と思えます。

(多宝会 加藤 貴之様)

・ふくしま市産官学連携プラットフォームの活動に敬意を表しつつ、さらなる発展をご祈念しております。また、外部評価のみならず、お手伝いできることがございましたら遠慮なくご注文いただければと思います。

(いちい 伊藤 翼様)

・コロナ禍で行動が制限される中、様々な事業実施をしていただきありがとうございました。今後も、ふくしま市産官学連携プラットフォームの活動を通して地域が活性化し、学生たちが希望をもって就職できる環境づくりに貢献されることを期待しております。

(とうほう地域総合研究所 鈴木 公紀様)

・長引くコロナ禍において、感染防止対策などの各種制限が伴う中での令和4年度事業実施であり、試行錯誤と工夫を重ねられた取組は来年度以降の事業活動に資するものと考えられます。全国的に人口減少が課題となる中、福島県では特に若年層の転出超過が著しく、福島市内においても若い世代の居住人口に加え、市外・県外から福島市を訪れる学生や社会人などの交流人口を維持向上は重要な課題と考えられます。令和4年度の事業「大学生による地元企業の魅力発信事業」は、学生と企業の双方において地域の魅力を再発見し発信する大変有意義な取組と感じており、地方創生・産官学連携の一つの柱として今後も持続的な取組を期待します。なお、今後の取組の方向性として、本プラットフォームの事業に携わった卒業生（社会人）が、さらに本プロジェクトに参画できる循環型の取組を検討することにより、持続可能な事業活動が展開されることを期待します。具体例として、「福島市内で就職している卒業生（社会人）招聘型の合同インターンシップ」により、企業や出身校の垣根を超え、参加型インターンシップでは得られにくい就職活動や社会人生活の生の声に触れることで、卒業生～学生～卒業生～学生へと循環型の事業が展開され、地域企業の採用活動にも資すると考えられます。

(三育保育園 山崎 麻弥子様)

・コロナ禍が続く中での事業実施大変だったことと思います。それぞれのプロジェクトチームごとに一歩ずつ前進して計画、実施されていると感じました。保育士キャリア形成プロジェクトチームが実施しておられる、保育士対象アンケートの分析結果についても楽しみです。又、保育・幼児教育施設見学とバスツアーの実施につきましては、今後も継続して行ってほしいと思います。福島圏域連携中枢都市圏ビジョンの素案策定の時には、会議に出席して意見を述べさせて頂いたりしていましたので、つながって行ってほしいと思っています。

2. 事務局検討事項まとめ

・令和4年度事業に関して、各委員からご理解を頂き内容に関して好意的なご意見を頂きました。またコロナ禍が収まりつつあった状況で本来の事業を順次再開できていきましたので、その点も評価頂けたと存じます。

また継続して事業を展開することも重要ですが、とうほう地域総合研究所鈴木様のおっしゃるように事業に関わった卒業生に対しても今後就職関係のイベント実施に関して参加をしてもらい、地域の企業の魅力発信に貢献してもらえるような形を検討したいと思います。

3. 令和5年度外部評価委員変更に関する報告

令和5年度とうほう地域総合研究所の鈴木公紀様部署移動のため、外部評価委員に関して任期途中でございますが、後任の諸根浩文編集長に就任をお願いいたしたいと存じます。

(外部評価委員変更)

(前)

一般財団法人 とうほう地域総合研究所
編集長兼研究員 鈴木 公紀 氏

↓ (変更)

(新)

一般財団法人 とうほう地域総合研究所
編集長 諸根 浩文 氏

任期に関しては残任期間を引き継ぐので残り2年間(令和5年度～6年度)をお願いいたします。
※福島市産官学連携プラットフォーム外部評価委員会実施要領より